

宮崎基地特攻資料展

後世に語り継がなければならない、
78年前の宮崎の歴史

入場無料

展示資料；

- ・宮崎に残る戦争遺構
- ・特攻隊員の残された声
- ・宮崎基地の全貌
- ・アメリカ軍が実際に使用していた装備品
- ・B29爆撃機プロペラ実物(初公開)
- ・延岡大空襲で投下された焼夷弾の部品(初公開)

日程：令和5年

10月10日（火）～10月22日（日）

※10月14日(土)は観覧できません

開館時間：平日 09:00 – 21:00
土日 09:00 – 17:00

会場は学生が自習スペースなどで活用しています。また、会場で学生向けの講義が実施されており観覧できない場合があります。事前にホームページよりご確認のうえ、来場いただきますようお願い申し上げます。



↑ 詳細情報はこちら

会場：宮崎大学附属図書館 1階

アクセス：宮崎交通バス「宮崎大学」

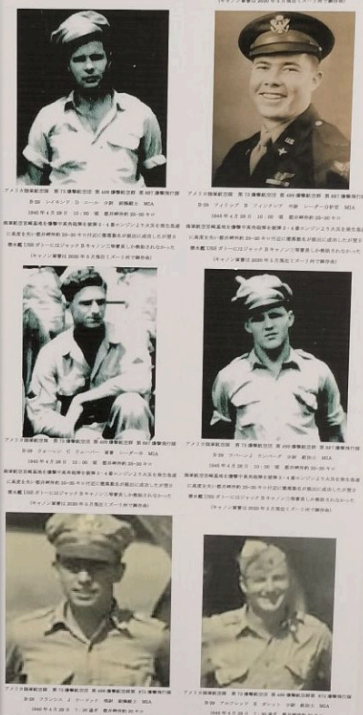
下車徒歩3分

企画問合せ：

宮崎大学研究・産学地域連携推進機構

0985-58-7951（平日9時～16時）

百三十人を超える若者が、宮崎を最期の地として飛び立ったこと。三十八人の若きアメリカ兵が宮崎の地で命を落としたこと。あなたは知っていますか？ 知って下さい、宮崎の歴史。



主催：宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会
共催：国立大学法人宮崎大学
後援：南九州文化研究会

映像協力：MRT宮崎放送

会長あいさつ

今の日本の平和と繁栄は当たり前のもなののでしょうか？

戦後78年を迎えた今日、私たち日本人はあの時の記憶をどのように次の世代へ伝えていくのでしょうか？

戦争により祖国に命を捧げられた尊い犠牲者の中には、「特攻」という作戦の名の下、赤江海軍飛行場から出撃し、その短く儚い命を南海に散らした若者が多く含まれていました。

私たちは、次の世代に「戦争を語り継ぐ」活動や、今回のような資料展を開催することで「特攻隊員の遺品」などを直接、皆様にご覧いただき、あの時の戦争の悲惨さや当時を生きた人の想いを後世に伝えていくことが使命であると考えています。

是非とも、この資料展にお立ち寄りいただき、戦争のない今を生きている幸せと感謝の気持ちを改めて感じていただければと思います。

この資料展が戦争のない平和な時代をこれからも守り築いていくための一助となれば、平和な世の中を願い、祖国のために命を捧げられた皆様方の追悼にもなると思っています。



宮崎特攻基地慰霊祭
実行委員会 会長
後藤徹夫

企画 監修 資料調査・製作者あいさつ

戦後78年が過ぎ、確実に戦争の記憶は失われようとしています。我が郷土宮崎で戦時中何が起こっていたのかを知っていただくことで、戦争の無い平和な世の中を作る為の一助になればと思います。

沢山の方々のご来場を、心よりお待ち申し上げます。



南九州文化研究会 稲田哲也

資料の紹介

今回は、宮崎の地を今生の最後の地として飛び立った「神風特別攻撃隊員」達の遺影や遺書、宮崎を空襲したアメリカ側の実物資料などを中心に展示します。

また、宮崎で命を落としたアメリカ兵に関する展示やB29爆撃機プロペラの実物展示も行うことで、日米双方からの視点による展示を行います。

その他MRT宮崎放送提供の貴重な映像資料の放映も行います。



オレンジ色の枠内は指定駐車場のため駐車禁止です。

宮崎大学附属図書館 電話：0985-58-7147

【ご来場に当たってのお願い】

- 図書館入り口でのアルコール消毒、館内での咳エチケットにご協力下さい。
- 一般の方は入館時に簡単な手続きが必要となります。
- 会場は学生が自習スペースとして活用しています。また、会場で学生向けの講義が実施されている場合がありますので、ご配慮願います。
- 平日は駐車場が足りないため、離れた場所に駐車することになりますが、ご容赦ください。
- オレンジ色の枠内は指定駐車場となります。必ず白線枠内の駐車スペースをご利用下さい。